



発達障がい ぼく・わたし
vol.3

「思い通りに行かない」とすぐに怒る…。
うちの子万年イヤイヤ期…。(汗)
なんという事心当たりはありますか? 私
は、心当たりありありで、ショッちゅう言つ
てました。3歳になつてイヤイヤ期も落ち
着いてもいい頃、まだまだイヤイヤの続く
日々…。中でも、急な予定変更は特に苦手。
発達ゆっくりさんにはよくある特性です。お
天気や体調などによる、やむを得ない急な予
定変更でも、納得させるのは至難の業…。
いつもの様に、余裕を持って出かける予定
を伝え、「9時に出かけるから、それまでにお
着替えて、出かける準備をしようね!」こ
の時点では良い返事『はーい!』(いつも最初
のお返事だけは満点○笑)。いつも通り、こま
めに声をかけ、優しく言ってみたり、息子の
好きなキャラクターのマネをして言ってみた
り。けれど一向に着替えはじめる気配なし。
私の心の中にイライラ虫が一匹きりひき。
調もだんだんキツくなってしまいます。(あか
んなあ…と反省しつつ)



Instagram

池永 紗美
n an o p l a n t s
児童福祉施設デザイナー
フリーランスデザイナー
息子の発達障害をきっかけに福祉の活動にも
参加。発達障害のあれこれ漫画で分かりや
すく伝えていきたいと思います。

別の日

昭和なまちの Buy Local

バイローカルの詳細はこちら▶

日時 2021年11月11日(木) 11:00~16:00
会場 長池公園(大阪市阿倍野区長池町14)

『バイローカルの日』にままっち、青空託児します!
阿倍野周辺のいろんなお店が集まる「バイローカルマーケット」。毎年、たくさんの地域的魅力的なお店が参加して、長池公園で実施されています。ままっちにもお声がけいただき、参加することになりました!「私たちらしいブースってなんだ?」といろいろ考えた末、「そうだ、託児をしよう!」ということに。

特に子どもが小さい間はゆっくりお茶できなかったり…。短時間ではありますが、お子さんをお預かりします。バイローカルに出店されているいろんなお店をゆっくり楽しんでくださいね!

ままっち青空託児

時間: ①11:00~11:30 ②11:40~12:10 ③12:20~12:50
④13:00~13:30 ⑤13:40~14:10 ⑥14:20~14:50
各30分

定員: 各時間帯3名(応募者多数の場合は抽選)

対象: 0歳4ヶ月~3歳未満

料金: お子さん1名につき500円(保険料込み)

は申込
ご連絡
・詳細



人気イベント てくてく フルシェ

開催予定!

日程 2021年12月4日(土)
会場 文の里商店街

詳細は決まり次第LINE・
インスタでお知らせします。
この機会に友だち登録・
フォローお願いします!



A. (→P10続き) 濃いベージュ色になるまで煮詰めてポップコーン投入。弱火で混ぜて絡ませてできあがり(まの)



たぐっちゃん

大阪生まれ大阪育ち、11歳、7歳、5歳の子どもの母。阿倍野区にある力フェTHE MARKETの元子連れ出勤主婦で、元ままっちメンバーです。長崎県壱岐島出身の夫と出会い、結婚。近い将来壱岐に帰ると言われるも、あれよあれよという間に子どもが3人生まれ大阪市で子育していました。この度ようやく夫が決意し、2020年春、家族そろって移住しました。現在、壱岐市の地域おこし協力隊として活動中。

みなさま、いかがお過ごしでしょうか?

離島、田舎…コロナなんて関係なく普通に過ごしているつてお思いですか? いえいえ、実はその反対です。町行く人はみなマスク、スーパーの前では消毒。何なら大阪よりもバスになっているのではないかと思います。

今回のテーマは「学び」



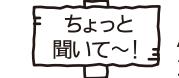
私自身、都会と田舎で学習能力が違う?なんて頭には全く浮かばなかつたのですが、結構な割合で「学力が下がる心配はなかつた?」と聞かれます。考えてみると大阪では4年生で塾に通う子がいたし、中学受験を希望している子がいました。ですが、少なくとも子どもが通っている学校で塾に行っている子はいないし、島には受験が必要な中学校はありません。

実際はどうなのか、親目線で私が感じることを書きます。

放課後… 大阪では学校から帰ってくるランドセルを置いて習い事のない日は遊びに行くというのがお決まりになつていました。ここでは「歩いていける範囲に友だちの家がない」ので、遊びに行くと宿題、読書、ゲーム、テレビ、姉弟で遊びに限られます。

長女(小6)のクラスでは全員がチャレンジタッチをしているらしく、長女も始めました。すぐに飽きました。子どもからしたら、理由なんて関係なく、「もう9時に出かけるから、それまでに用意してって言ったやん! 早く用意して!」といふとライラクする大人も同じだなと思いませんでした。子どもからしたら、理由なんて関係なく、「予定が変わった」「やりたい事が出来なくなってしまった」という事実があるだけ。それからも、予めの予定を伝え、「でも、もしできなかつたら〇〇しようね!」と保険を用意する事にしました。そうすることで息子のライラクは格段に減りました。

大阪にいたときよりも勉強時間は増えているし、心配をよそに賢くなつている感じもして? 「できていないとバレる」という恐怖観念もあり(笑)。ちょっとかわいそうだけど自然の中で走り回れる環境にあるので、淨化されるかなと思います。



A. 簡単キャラメルポップコーン。フライパンで油大さじ2とポップコーンの素70gでポップコーンを作り、一旦取り出してフライパンを拭き、牛乳大さじ2砂糖70gバター30g(無塩なら塩少々)を入れ(→P11続く)

壱岐には小学校が18校あります。

子どもたちが通うのは中でも2番目に人数が少なく、全校生徒32名。だいたい大阪の1クラス分…。生徒一人一人に先生の目は届きやすく、学習もスムーズなようです。

